

問1 北海道の沿岸部に位置する各都市と、それらが面している海域の名称の組み合わせとして、地理的な位置関係が正しいものはどれですか。

(2016年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 小樽市は太平洋に面しており、網走市は日本海に面している。 | 2. 小樽市は日本海に面しており、網走市はオホーツク海に面している。 | 3. 小樽市は日本海に面しており、網走市は東シナ海に面している。 | 4. 小樽市はオホーツク海に面しており、網走市は日本海に面している。 |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|

問2 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県的全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。

(2023年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地へ転用されているため | 2. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため | 3. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため | 4. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため |
|---|---|---|---|

問3 北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、1 2月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2025年

群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 1. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため | 2. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため | 3. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため | 4. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため |
|--------------------------------------|--|---|--|

問4 北海道の室蘭などで発展した鉄鋼業の歴史的背景と、現在の産業構造の変化について述べた文として、背景や理由が正しく説明されているものはどれですか。

(2022年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 複雑な海岸線を利用した観光業と両立させるため、環境負荷の低い小規模な石炭火力を維持しながら、特殊鋼ではなく汎用的な建築用鋼材を主に生産している。 | 2. 明治時代の北海道開拓に伴い、農業機械の自給を目的として鉄鋼業が興されたが、現在は周辺国との競争に敗れ、すべての製鉄所が閉鎖されている。 | 3. 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。 | 4. もともと海外からの輸入原料を加工するために砂嘴の地形を利用して港を整備したが、現在は造船業が衰退し、製造品出荷額の大半が食品工業となっている。 |
|---|--|--|--|

問5 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものとして適切なものはどれですか。

(2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 地吹雪による視界不良を防ぐために、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。 | 2. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。 | 3. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。 | 4. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。 |
|---|---|--|---|

問6 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。

(2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|--------------|
| 1. 世界貿易機関 | 2. ユネスコ | 3. 国連児童基金 | 4. 東南アジア諸国連合 |
|-----------|---------|-----------|--------------|

問7 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 西側に十勝平野、東側に石狩平野 | 2. 西側に石狩平野、東側に根釧台地 | 3. 西側に根釧台地、東側に十勝平野 | 4. 西側に石狩平野、東側に十勝平野 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

問8 日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。

(2022年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。 | 2. 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。 | 3. 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。 | 4. 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。 |
|---|---|--|--|

問9 石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていました。この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う | 2. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする | 3. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する | 4. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問10 北海道の太平洋沿岸部において、夏に発生する濃い霧（海霧）の発生メカニズムについて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。

(2024年 石川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。 | 2. 南東から吹く乾いた季節風が、寒流であるリマン海流によって冷やされるため。 | 3. 北西から吹く冷たい季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められるため。 | 4. 北西から吹く湿った季節風が、暖流である対馬海流によって温められるため。 |
|--|---|--|--|

問11 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。

(2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため | 2. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため | 3. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため | 4. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため |
|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|

問12 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 1. 促成栽培の普及 | 2. 農業生産性の向上 | 3. 自給足率の低下 | 4. 耕作放棄地の拡大 |
|------------|-------------|------------|-------------|